



予 防 接 種

問合わせ先

オーストラリア首都特別地域

ACT予防接種照会ライン(Inquiry Line)

(02) 6205 2300

ニューサウスウェールズ州

お近くの公衆衛生局にお問合わせください

(電話帳の「健康」の欄をご覧ください)

北部準州

(08) 8922 8044

クイーンズランド州

(07) 3234 1500

南オーストラリア州

南オーストラリア州予防接種調整局

(Immunisation Coordination Unit)

(08) 8226 7177

SA(24時間)子育てヘルプ・ライン

(Parent Help-Line)

(青少年の健康)

1300 364 100

タスマニア州

(03) 6222 7724 または

1800 671 738

ビクトリア州

1300 882 008

西オーストラリア州

(08) 9321 1312

本パンフレットをご希望の場合は、予防接種プログラム

(Immunise Australia)のインフォメーションライン

(1800 671 811)にお電話ください。

Understanding Childhood

IMMUNISATION

is proudly endorsed by



Royal Australasian
College of Physicians



Australian Divisions of
General Practice



Australian Early Childhood
Association Inc



Australian Institute of
Environmental Health



Deafness Foundation



Federation of Ethnic
Communities' Councils
of Australia



Child Accident Prevention Foundation of Australia



Post-Polio Network
(NSW) Inc



Rotary International



National Aboriginal
Community Controlled
Health Organisation



The PHARMACY GUILD of AUSTRALIA

Japanese



Australian Government
Department of Health and Ageing

i M M U N I S E

A U S T R A L I A P R O G R A M

An Australian, State and Territory
Governments Initiative



予
防
接
種

Understanding Childhood

i M M U N I S A T I O N



オーストラリア全国予防接種プログラム
(2005年11月1日より実施)

国庫負担の予防接種スケジュール(0~4歳)

年齢	予防接種の対象となる疾患
誕生	<ul style="list-style-type: none"> ● B型肝炎 <p>お子さんが予防接種を受けたものには印をつけましょう。</p>
2 ヵ月	<ul style="list-style-type: none"> ● ジフテリア-破傷風-百日咳 ● B型肝炎 ● B型インフルエンザ菌(Hib)感染症 ● ポリオ ● 肺炎球菌感染症
4 ヵ月	<ul style="list-style-type: none"> ● ジフテリア-破傷風-百日咳 ● B型肝炎 ● B型インフルエンザ菌(Hib)感染症 ● ポリオ ● 肺炎球菌感染症
6 ヵ月	<ul style="list-style-type: none"> ● ジフテリア-破傷風-百日咳 ● B型肝炎(もしくは12ヵ月に実施) ● B型インフルエンザ菌(Hib)感染症(特定のワクチンタイプの場合に実施) ● ポリオ ● 肺炎球菌感染症
12 ヵ月	<ul style="list-style-type: none"> ● B型肝炎(もしくは6ヵ月に実施) ● B型インフルエンザ菌(Hib)感染症 ● 麻疹-おたふく風邪-風疹 ● C群髄膜炎菌感染症
18 ヵ月	<ul style="list-style-type: none"> ● 水痘
4 歳	<ul style="list-style-type: none"> ● ジフテリア-破傷風-百日咳 ● 麻疹-おたふく風邪-風疹 ● ポリオ

*注:北部準州、西オーストラリア州、南オーストラリア州、クイーンズランド州に居住するアボリジニおよびトレス海峡島しょ民の児童は、上記以外のワクチン接種を政府の費用負担で受けることができます。詳しくは、第3節の43ページを参照ください。

予防接種の詳細については、予防接種プログラム(Immunise Australia)のウェブサイト(<http://immunise.health.gov.au>)をご覧ください、
同インフォメーション・ライン(1800 671 811)にお電話ください。

オーストラリア小児予防接種記録簿(Australian Childhood Immunisation Register)の詳細については、
予防記録接種簿(Immunisation Register)のウェブサイト(www.medicareaustralia.gov.au)を
ご覧ください、1800 653 809にお電話ください。

B型肝炎 - 感染力の高いウイルスが、主として血液、性的接触によって、あるいは母親から新生児へと伝播し、急性肝炎が生じるか、慢性のウイルスキャリアとなります。

慢性キャリアの4人に約1人が、肝硬変または肝癌を発症します。

15人に約1人から100人に1人の確率で、痛みと発熱がみられます。アナフィラキシー(突然で深刻なアレルギー反応で、深刻な血圧低下に至ります)が、60万人に約1人の確率で生じます。

Hib - 感染力の高い菌が飛沫によって伝播し、髄膜炎、喉頭蓋炎(気道閉塞)、敗血症、骨髄炎(骨の感染症)を引き起こします。

髄膜炎患者の20人に約1人が死亡し、残る4人に1人が永続的な脳障害または神経障害をきたします。

20人に約1人が不快感または局所炎症をきたします。50人に約1人が発熱をきたします。

喉頭蓋炎患者の100人に約1人が死亡します。

麻疹 - 非常に感染力の強いウイルスが飛沫によって伝播し、発熱、咳、発疹を引き起こします。

麻疹患者の25人に1人が肺炎を、2,000人に1人が脳炎(脳の炎症)を発症します。

10人に約1人が不快感、局所炎症、または発熱をきたします。100人に約1人が非感染性に発疹をきたします。100万人に1人が、脳炎(脳の炎症)を発症する可能性があります。

脳炎を発症した児童の10人に1人が死亡し、4人以下が永続的な脳障害をきたします。25,000人に約1人がSSPE(脳変性)を発症し、死に至ります。

髄膜炎菌感染症 - 菌が呼吸飛沫によって伝播し、敗血症(血流の感染症)と髄膜炎(脳を囲む組織の感染症)を引き起こします。

10人に約1人の患者が死亡します。
生存者の30人に1人が深刻な皮膚の瘢痕化または四肢喪失を、30人に1人が深刻な脳障害をきたします。

10人に約1人が局所炎症、発熱、イライラ、一時的な食欲不振、または頭痛をきたします。

おたふく風邪 - 伝染力の高いウイルスが、唾液によって伝播し、頸部腺の膨張(発熱)を引き起こします。

200人に1人の児童が、脳炎(脳の炎症)を発症します。思春期を過ぎた男児の5人に1人が睾丸の炎症をきたします。不妊または難聴を引き起こす場合もあります。

100人に1人が唾液腺の腫脹をきたす可能性があります。300万人に1人が軽度の脳炎(脳の炎症)を発症します。

肺炎球菌感染症 - 菌が飛沫によって伝播し、発熱、肺炎、敗血症、髄膜炎を引き起こします。

髄膜炎患者の10人に約1人が死亡します。

多糖体ワクチン: 20人に1人未満の確率で、痛みまたは局所反応を認めます。
結合型ワクチン: 10人に約1人が局所反応または発熱をきたします。

ポリオ - 伝染力の高いウイルスが、糞便と唾液によって伝播し、発熱、頭痛、嘔吐を引き起こし、これが麻痺へと進行する場合があります。

入院患者の20人に約1人が死亡し、残る2人に1人が永久麻痺をきたします。

局所の発赤(3人に1人)、痛み(7人に1人)、腫脹(10人に1人)がよくみられます。10人に1人以下で、発熱、泣き、食欲低下を認めます。

風疹 - 伝染力の高いウイルスが、飛沫によって伝播し、発疹、発熱、腺の腫脹を引き起こし

10人に約5人の患者が、発疹と痛みを伴う腺の腫脹を、青年または成人の10人に5人

10人に約1人が不快感、局所炎症、または発熱をきたします。20人に約1人が腺の腫脹、項

ます。妊婦が感染した場合は乳児に深刻な奇形が生じます。

が関節痛をきたします。3,000人に1人が血小板減少症(紫斑または出血)を、6,000人に1人が脳の炎症を発症します。受胎後の最初の10週間に胎児が感染した場合、10人に9人が重大な先天性異常(難聴、失明、脳障害、心臓異常など)をきたします。

部硬直、または関節炎をきたします。100人に約1人が非感染性の発疹をきたします。血小板減少症(紫斑または出血)が、30,500人に1人の確率でMMRの初回接種後に生じます。

破傷風 - 土壌由来の菌の毒素によって生じ、痛みを伴う筋痙攣、痙攣、開口障害を引き起こします。

10人に約1人の患者が死亡します。リスクが極めて高いのは、乳幼児または高齢者です。

10人に約1人が局所炎症または発熱をきたします。重い有害事象は、極めてまれです。

百日咳 - 伝染力の高い菌が飛沫によって伝播し、咳の発作と嘔吐を引き起こし、これが3ヵ月まで続きます。

6ヵ月未満の百日咳患者の200人に約1人が肺炎または脳障害により死亡します。

10人に約1人が局所炎症または発熱をきたします。重い有害事象は、極めてまれです。